

登録コード	SSG04611	開講年度	2026				
授業題目	特別研究(地球学ユニット)				担当教員	笠原 里恵	
英文授業名	Special Research(Geology Unit)				副担当		
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力				・ 先行研究を中心に情報を収集しながら、自分の研究の意義や位置づけ、課題、その解決方法を自ら模索し、見出すことができる力をつける。 ・ 自分の研究結果に対して専門的な知識に基づきながら客観的かつ理論的な説明をすることができ、他研究の比較などを踏まえて、考察できるようになる。 ・ 学会発表を通じて自分の研究を明確かつ簡潔に他者に伝えられる力を身に着け、他者からの助言を前向きに取り入れ、また他者の研究に対して建設的な意見を述べるができるようになる。		
(2)授業の概要	特定の授業時間を持たずに、以下に関する随時の議論から構成される。 1．専門的知識の収集 2．専門的知識に基づく地球学上の課題設定 3．課題解決のためのデータ収集 4．データから導かれる知見のまとめ 5．得られた知見の妥当性についての議論						
(3)授業のキーワード	コミュニケーション能力, 問題発見・解決能力, 分析能力						
(4)授業計画	研究テーマにより異なるが、以下の流れに沿って実施する。 1) 研究テーマと目的を定める 2) 研究計画を立案して野外調査もしくは実験を実施する 3) 必要に応じて計画を修正、代替案を考案、遂行する 4) 結果を取りまとめて既存文献などを踏まえながら分析、考察する 5) 発表資料および修士論文にまとめる						
(5)成績評価の方法	以下について総合的に評価する。 1．専門的知識の収集 2．専門的知識に基づく地球学上の課題設定 3．課題解決のためのデータ収集 4．データから導かれる知見のまとめ 5．得られた知見の妥当性についての議論 これらを踏まえて、提出された修士論文と発表会の内容をもとに、学位論文審査委員会（主査1名，副査複数名）が評価原案を作成し，全教員の議論により評価を決定する。						
(6)成績評価の基準	修士課程における成長度を評価の基準とする。自主的に、また必要に応じて指導教員と相談しながら研究を進めることができ、研究計画の達成度、修士論文および質疑応答を含む口頭発表の完成度が90%以上を秀、80-89%を優、70-79%を良、60-69%を可、60%未満を不可とする。						
(7)事前事後学習の内容	普段から積極的に専門分野の論文や書籍を調べ、読みこなして知識の習得を行うことが求められる。						
(8)履修上の注意	履修を検討している段階で指導教員とよく相談すること。						
(9)質問,相談への対応	随時受け付ける。						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	指定しない。						